

「ジアミン」と「過酸化水素」のリスク



「ジアミン」のリスクとは？



ジアミン配合のヘアカラーによる皮膚障害の事例【消費者庁ホームページ資料より】

皮膚アレルギー

ジアミンアレルギー症状【かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等】は今まで大丈夫だった人でもある日突然起こる場合があります。

一度ジアミンアレルギーになると、完治することは殆どありません。

もっと詳しく知りたい方は「毛染めによる皮膚障害 消費者庁」をご覧ください。

アナフィラキシーショック



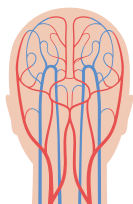
かぶれを気がつかずに使用を繰り返していると、まれにアナフィラキシーショックという呼吸困難の重篤なアレルギー反応が突然起こることがあります。
生死に関わる場合もあるので注意が必要です。

美容室で使用しているジアミン配合カラー剤の箱に必ず記載されている内容

【使用上の注意】次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹（かゆみ、発疹、発赤）あるいは気分の悪さ（息苦しさ、めまい等）を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験（パッチテスト）の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方（病中、病後回復期、生理時、妊娠中等）
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方（微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等）

- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は絶対に使用しないで下さい。



頭皮から体の広範囲へ

腎臓病・血液疾患等既往症がある方・生理時・出血しやすい人・・・等、頭皮から体の広範囲に影響を与えるジアミンは本当に危険なのでご注意ください。

ヨーロッパではジアミンの高い毒性を懸念して、ヘアカラーにはジアミン色素を使用する事自体が禁止されている国があるほどです。

皮膚アレルギー試験の重要性と方法は「日本ヘアカラー工業会」のホームページをご覧ください。

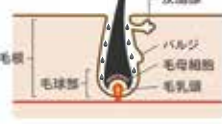
「過酸化水素」のリスクとは？

うす毛の原因 I



過酸化水素がバルジ領域にある「毛包幹細胞」を攻撃→毛包幹細胞の動きを弱めてしまう→新しい髪が生えづらくなり、うす毛の原因になることも！

うす毛の原因 II



毛穴から出た皮脂が、過酸化水素によって過酸化脂質に変化

過酸化脂質の問題点

- ①毛髪の成長を妨げる
- ②毛母細胞の動きを阻害してうす毛・細毛の原因になる。

白髪が増える原因



過酸化水素がバルジ領域にある「色素幹細胞」を攻撃→メラノサイトの減少・機能低下→髪を黒くすることができない→白髪のまま髪が生える→染めれば染めるほど白髪が増えやすくなる。

頭皮環境の悪化

かゆみや肌荒れ・頭皮のニオイ、炎症等の頭皮トラブルの原因にもなります。

髪の脱色&ダメージ

過酸化水素＝メラニン色素を破壊して脱色させる

オキシドール＝2.5%～3.5%の濃度の過酸化水素水のこと。通常美容室で使用するのは濃度6%の過酸化水素水が主流。オキシドールの約2倍もの高濃度。

過酸化水素は通常のシャンプーでは落としきれないので髪に付着したまま放置するとカラーの褪色を早めたり髪のダメージが進行します。